

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT (4-1/4-2 CYCLE)

Experimental Group	E325	Reporter	延與秀人
Scheduled Period and Shift	4-1(11/15-12/ 3) 4-2(12/5 -12/23)	Main, Sub, Para	Sub
Experimenters 成木、武藤、四日市、田原、谷田、北口、村上、千葉、関本、延與			
SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS <p>サイクル前半にスペクトロメーター電磁石の磁場値がふらつく現象が再発、現場で微弱なるも漏水も発見される。直ちにビームチャンネルに依頼、対策を行う。結果的に上部7巻のコイルのうち3巻を回路系から切り離すことを決定。下側で同様な処理を行うと起磁力が不足になるため、下部は7巻をそのまま利用。非対称度は上部ポールピース上でマイナス2%、下部ポールピース部で+2%程度であり、補正の範囲内であると考えられる。ただ、磁場の変化に伴い、PMTのゲインが変化し、再調整が必要とされた</p> <p>この問題以外では順調にデータ収集が進んだ。</p>			
EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc. <p>上記トラブルなどでダウンタイム17シフト。実効シフト数85</p>			
COMMENTS <p>マグネットは修理をあきらめ、このまま実験集結まで辛抱する。</p>			